

2007 年 3 月 14 日

BMW Motorrad World News 2007 Vol. 6

* 以下のニュースは BMW AG 発行のニュースレターの翻訳であり 日本市場への導入とは関係の無い場合があります。

- ◆ BMW Club Europa 紹介
- ◆ BMW 世界一周リレーを追いかけよう
- ◆ 'Annual Gathering' の参加者募集中

【BMW Club Europa 紹介】

BMW ライダーの有志が BMW Club Dusseldorf を設立したのは今から約 80 年前の 1928 年のことだった。その後、数十年の間に北アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、日本、アジア、ヨーロッパで新しいクラブが次々と設立された。BMW Club Japan からアメリカの BMW Motorcycle Owners of America に至るまで、BMW のコミュニティはますます強力になり、世界中で活発な活動を展開している。20 万人以上のメンバーを抱える国際的な BMW クラブ組織は、自動車およびバイクメーカーで世界最大規模のネットワークを誇る。

1980 年代には、ヨーロッパ外で新設されたクラブの数が徐々に増えたため、世界のクラブを統括する「International Council of BMW Clubs」とおよび BMW Club Europa で細分化が議論された。BMW Club Europa (BCE) は、ほぼ全てのヨーロッパ諸国を網羅し、さらに多くの国が EU に加盟したため新しいクラブが続々と新設されており、現在ではクラブ数 200、メンバー数は 35,000 人を超えていている。

BMW Club Europa とは？

BCE は、ヨーロッパ中の BMW クラブを統括している。ヨーロッパ中の BMW クラブが加盟し、ヨーロッパ全域でニュースや情報を交換している。さらにはホテル、旅行代理店、レンタル会社、メーカー等の優待もある。



れる BMW Motorrad Biker Meeting にも出席している。

BCE の目的は、加盟クラブの“ラウンドテーブル”としてヨーロッパ中の BMW クラブメンバーの友好を深め、情報や特典を提供し、「International Council of BMW Clubs」に加盟クラブを代表し、新たに加わる新規クラブを支援することだ。

BCE クラブのメンバーはブランドの真の親善大使であり、BCE では多数の BMW イベントの企画・参加を行っている。BCE は BMW Motorrad とも良好な関係を築いており、その協力のもと、メンバーは製品の情報を受け取り、Garmisch で開催さ

れる新規メンバーは常に大歓迎。BCE のメンバーになるには、いくつか方法がある。地元の BMW クラブ (BCE 加盟) に加入することも可能だ。活動している BMW クラブが地元にあるかを調べるには、

ホームページ (www.bmw-club-europa.org) の 'clubs' で調べるか、その国のクラブを統括している組織に自分に合ったクラブを問い合わせてみるのも良い。

あるいは、新しいクラブを作ることもできる。その国のクラブを統括している組織がサポートしてくれる。活動しているクラブが自分の国に無ければ、BCE が必要なサポートや情報を提供してくれる。さらに、BMW Club Europa Friendship Card を貰って個人メンバーになることも可能だ。



BMW Club Europa のすごいところは、メンバーの趣味の広さだ。BMW クラブの個人メンバー同様、各クラブも同じ趣味を共有する他のクラブを BCE のネットワークで探す。同じ趣味を共有するクラブと出会い、イベントに参加したり他のクラブと共にアクティビティを企画したりできる。その最も大きなものは、年に一度開催される BMW Club Europa Meeting だ。このイベントではヨーロッパ中から仲間が集い、最高の時間を過ごすことができる。イベントは BCE が後援し、毎年違う国での BMW クラブが企画を行う。

ライダー達の思い出に残っているのは、Biker Meeting が数年前に初めてオーストリアのゼーフェルトで開催された時のことだろう。これを BMW に提案したのは BMW Club Europa で、それ以来とても素晴らしいイベントになっている。この Biker Meeting は BMW Club Festival と BMW Motorrad Biker Meeting が初めて合同で開催され、BMW Motorrad の尽力によりかつてない数のライダーが参加した。BMW Club Europa は Biker Meeting の成功と、国際的なお祭りに発展したイベントをとても誇りに思っている。このような大規模のイベントにはゼーフェルトは少々狭くなってしまい、以来ガーミッシュで開催されることになり BCE はゲストとして招待されている。

BCE のホームページ (www.bmw-club-europa.org) では、ヨーロッパ中の BMW に関連したイベント全てがリンクと共に紹介しているので、ヨーロッパでのクラブ活動がバーチャルで全て網羅できる。さらに、全てのクラブに関する情報も検索することができる。



BMW Club Europa のメンバーには多くの特典がある。クラブに対しては、クラブの質が最高レベルに保たれ、ウェブサイト、年鑑、BCE.net といったコンテンツ管理ツールより多数の情報が提供される。これにより、加盟クラブ同士でメッセージを送受信し、ウェブサイトに記事を掲載し、ヨーロッパ全域のクラブメンバーと情報を共有できる。

個人メンバーも BCE Meeting に格安で参加でき、さらには BCE メンバーカードで BMW Mobile Tradition、Hertz、KEA Motorcycles New Zealand、Karoo

Biking South Africa、Edelweiss Bike Travel、Munchner Freiheit、Welcome Hotelなど、多くの優待が受けられる。

【BMW 世界一周リレーを追いかけよう】

BMW 世界一周リレーはオーストラリアに上陸し、4人のライダーがニューサウスウェールズ州シドニーからクイーンズランド州ケアンズまで、最短距離で2,500kmにも及ぶ旅を出発した。

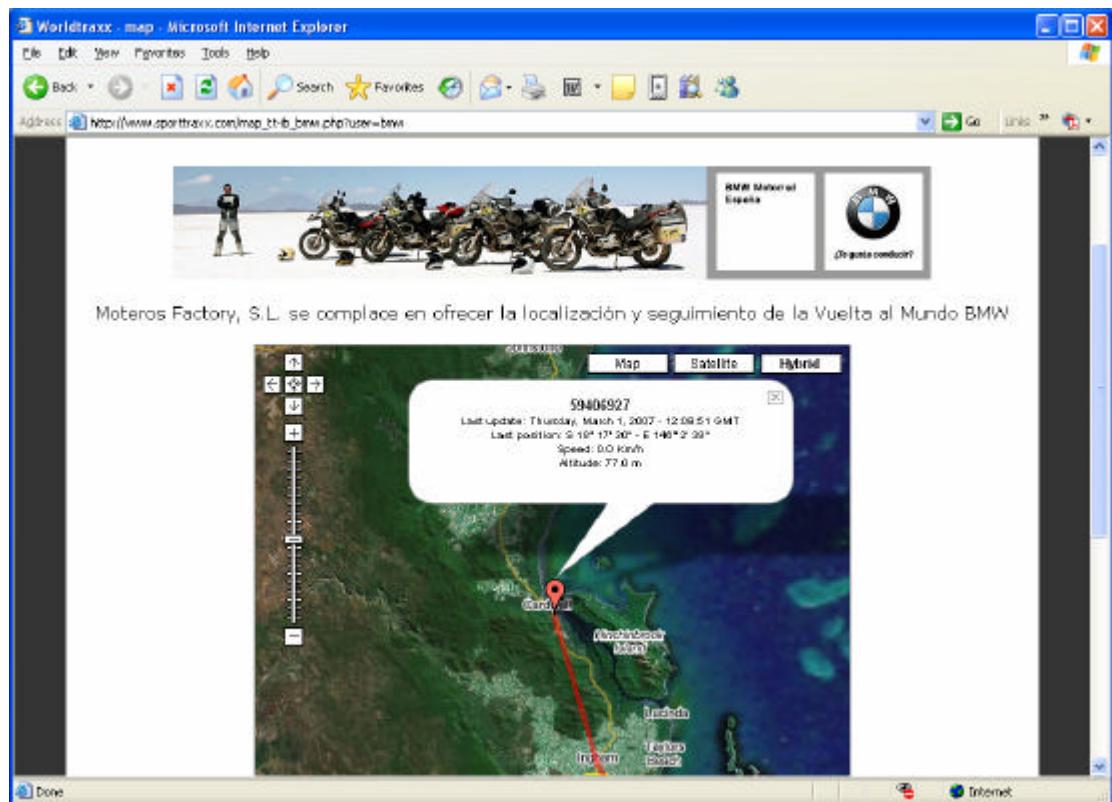
しかしこの壮大なリレーでは各ステージ(3,000~6,000km)が歴史、冒険、自然、芸術、文化的に重要な場所を結んでいるので、ライダーは最短ルートを取らずに2週間のライディングで4,000km近くを走破する。



さらに4人1組のライダー達は、自分たちが訪れる国の名所、文化、習慣などを調べ、自分たちでルートを選ぶことになっている。シドニー湾、ボンダイビーチ、大分水嶺山脈、ケープヨーク半島、ゴールドコースト、グレートバリアーリーフといった世界的に有名な観光スポットが含まれるこのステージでは、ライダーがそのような場所に立ち寄るのも自然なことだろう。

五大陸・15万kmを走破するこの旅を追いかけている人に朗報だ。現在、公式ウェブサイト(www.vueltaalmundobmw.com)ではリレーがオンラインで追跡できる。Google Earthを介して、ライダーの正確な位置だけでなく高度や現在速度まで見ることができる。

「この追跡システムは、ライダーが今どこにいるかが一目で分かる、画期的な方法だよ」と、世界一周リレーの主催者、ヘラルド・ゼーリガーは語る。過酷な地形や異文化の「お役所仕事」がけっこうあったけれど、旅はここまで大成功を収めている。長距離での旅は、粘り強さや決断力、忍耐力、柔軟性、社交性を教えてくれるんだ。ライディングスキルは言うまでもないけどね！」



「オーストラリアは 5 ステージあり、5 日前にスタートした。シドニーからケアンズに向かって、そこからダーヴィン、アデレード、パースを通って 5 月 10 日にシドニーに戻ることになっている。各ステージともライダーは 4 人 1 組で、バイクの総走行距離は 8 万 km に到達したけど、非常に良い状態だよ。アンデス山脈のステージは、ラフでちょっと激しかったけどね。ライダーはオーストラリアの BMW クラブと連絡を取っていて、BMW 狂であり 1983 年アメリカ・カップに優勝して 132 年間に及ぶアメリカの連勝を止めた、オーストラリアの英雄ジョン・バー・トランドにも会えたんだよ」

リレーはニュージーランドも訪れる予定だったが、日程と距離の制約上実現しなかった。この後リレーは、5 月 31 日から 6 月 13 日までパキスタンのイスラマバードから中国の敦煌までを走る。

【'Annual Gathering' の参加者募集中】

BMW Motorrad 南アフリカは、4月の最終週末に“Annual Gathering”と呼ばれる毎年恒例のBMWバイクラリーを主催している。これまで Annual BMW Bikers Gathering と言う名で親しまれていた、BMWバイク好きのためのオフィシャルな会合だ。



今後3年間の“Annual Gathering”はピクトリア西側、北ケープの歴史的にも美しい町カルーで開催される。今年は4月27日～29日まで開催され、海外からの参加者も大歓迎だ。参加者からの反響が大きければ、この地が“Annual Gathering”的開催地として定着することになる。

“Annual Gathering”は、話して、食べて、眠って、飲んで、乗って、BMWバイクを体感するための場所だ。情熱を共有して、楽しんで、リラックスして、学んで、パーティーに参加するということが一度にできるだけでなく新しい友達を作り、古い友情を深め、ライディングスキルを磨き、テストし、バイクの映画も観ることができる。一人でも、友達や家族と一緒に参加可能だ。

「どうやって世界最大かつ最高のバイ克拉リーを成功させ、“Annual Gathering”を高めていくか、新しいアイデアを出しました」とBMW Motorradのジェネラル・マネージャー、ラックラン・ハリスは語る。今年は、会場自体に重点を置いています。エンターテイメントには2、3のオプションを用意し、1時間に1回はイベントや講習、さらにビールテント、飲食店も多数あり、展示も楽しんでいただけます。それ以外にも広大な敷地があり、早朝から深夜まで友人を作る機会がたくさんあります」

ライディングやバイクのメンテナンスのトレーニング、GPSを使った旅の他にも、クラシックな映画館でバイク映画を鑑賞し、服やアクセサリーを見て、町を抜ける大規模なライディング‘concours d'elegance’や非公式のライドアウトに参加することもできる。ライブ演奏が楽しめるパーティー、モーターサイクル・オリンピック、抽選会、その他のサプライズ企画もあり、最も刺激的な“Annual Gathering”になることは間違いない。

BMW Motorrad のマネジメントチームは、南アフリカや海外で最も成功したバイクラリーをじっくりと吟味し、2007年の骨組みを作った。それで分かったのは、伝説となっているイベントは毎年同じ場所で開催されているということ。そのため、これまでバイ克拉リーが開催されておらず、地理的にも中心にあり、開催期間中は町全体が BMW バイク一色に染まり、かつ500人以上が宿泊できるようなほどよい大きさの町を探さなければならなかった。数百台ものバイクが停められる場所もなければならない。候補地は当初 10 ほどあったが、ビクトリア西側が全てのニーズを満たすことができる唯一の場所だった。

参加希望者は、ホームページ (www.bmw-motorrad-ag.co.za) で 2007 年 3 月 1 日から登録できる。宿泊や連絡先など、必要な情報は全てここで確認できる。

